

関 雅之  
Seki Masayuki



これまでに作ってきた作品



関 雅之さん(鉄山)

東京都出身。真庭なりわい塾への参加がきっかけで真庭市に移住。元真庭市地域おこし協力隊。「わらじあーむ。」で慈観雅之として、わら細工やしめ飾り作り、ワークショップなどを行う。一緒にわら細工やしめ飾り作りをする人を募集中。

真

MANIWA BITO

庭  
人

「なりわい」を作りたくて

わら細工やしめ飾りを制作する「わらじあーむ。」で、慈観雅之として活動する関雅之さん。関さんがわら細工を始めたのは、蒜山のがま細工を見たのがきっかけ。「自然素材でできていることにも魅力を感じましたし、手仕事を自分でやりたいな」と思っていたんです」と話します。

わら細工を選んだのは、わらなら比較的手に入れやすいと考えたから。「何かなりわいを作りたいという思いがあったんですけど、一から作るのはいかなかなか難しいことです。それで本当に、わらにもすがらる思いでわら細工を始めたんです」と笑います。

こだわっているつもりはないけれど

日本の職人が作るしめ飾りの多くは、米ができて前に刈ったわらを使うそうです。しかし関さんは、米ができて、脱穀した稲わらを使います。「色が好きですし、グラデーションが良くて」と話します。また、使うわらは無農薬で手刈りされたもの。「こだわっているつもりはないんですけど、やるなら自分の基準として設けたい」と思ったそうです。

引き継ぐこと

「目標としているのは、ちゃんと引き継ぐこと」

と言う関さん。「わら細工を始めるとき、うまいと言われる方々のところに行きましたが、もうやめている人や、できないという人にたくさん会いました。他の伝統工芸もそうですけど、目の前でどんどん途絶えていることを感じました」と話します。その経験もあり、「わら細工を仕事にしたいという人が、わら細工で生活できるまでの土台作りをしたいです」と力強く話してくれました。

